

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 1月 17日

事業所名 多機能型事業所 ミルキーウェイ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	5	利用状況によっては過ごすスペースが狭く、安全に過ごせる様更に収納や配慮が必要ではあるが、限られたスペースの中で収納を工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	送迎などでスタッフが少ない時間帯がありましたが、ドライバーさんやその他支援スタッフの増員で現在では、支援にあたるスタッフの確保はできている状況です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	7	パーテーションを使用し、落ち着くスペースを確保や情報伝達に関しては朝礼ノートや連絡ノートを活用しています。今後も、ハード面では車椅子で活動できるスペースの確保、段差解消、ソフト面では個々の専門性を療育や支援に活かしていきたいと思っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	4	空間に合わせて活動の内容を工夫を行っています。生活空間を整理する事で活動スペースを確保しトイレ、部屋、寝具等衛生に配慮し感染予防に努めることができています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	4	現在は少人数で振り返り情報を共有する形になっているので、今後は全スタッフが参画し情報を共有する事で、より良い支援に繋げていこうと思っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1	保護者からの意向があれば朝礼等で伝達が行われ、スタッフ全員が見れるように連絡ノートを活用し、改善に繋げています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	保護者アンケートや自己評価を行い、事業所のホームページに公開しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	他、公共機関と情報共有や助言を求める等が必要に応じ実施され、その結果をスタッフにも紙面で伝達し、情報の共有、業務改善に繋げております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	研修会の案内を掲示板に掲示したり、研修の告知がある又、勤務の中で研修に参加することができています。今後、研修で学んできたことを伝達する機会を設け、スタッフ間で共有でし、より良い支援に繋げていくことができるようにします。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	アセスメントシートを使用する事で子供の課題や子供、保護者のニーズを把握できるよう配慮しています。スタッフ間で共通認識を持ち支援する為に、日々の支援の中で、必ず話し合いの時間を持つようにします。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	今後アセスメントに関する研修へ参加し、スタッフ間で共有することが重要と考えております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	利用児に関わるスタッフで話し合いを行い、各項目で利用児にとって重要と思われる支援目標を設定しています。今後もスタッフ間でミーティングやカンファレンスの機会を設け、個別支援計画を作成し支援していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1	計画内容を共有しファイリングしています。支援計画に沿った支援内容をスタッフ全体で周知する事で、統一した支援ができるよう努めます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3	支援に関わるスタッフ皆で話し合いの場を持ち、意見を出し合うようにします。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	季節の行事や、様々なスタッフが療育計画を立てることで固定化しないよう工夫しています。様々な分野より意見を出し合う事で、活動内容が偏らず多様性のある活動ができるよう工夫していきます。

の 提 供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	3	支援計画内容に沿って個別で具体的な活動や支援の方法をスタッフ間で共有できるように個別でサポート用紙を作成中。個別に活動ができる環境を整え、それぞれの能力を伸ばす活動を1か月に1~2回「個別の日」をつくっていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	毎朝ミーティング（朝礼）を実施する事で職員間で共通認識を図る様にしています。その日の活動内容、役割等スタッフで打ち合わせをする時間をつくるようにします。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	朝礼や伝達ノートを作成し、情報共有に努めていますが、もっと連絡ノートを活用し情報を確認・共有できるようにしていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	日々の支援の記録を残し、保管しています。記録に残した事を振り返り、検証し支援の改善につなげていく又、支援の内容で疑問に感じたり、上手く支援できなかった事を共有し、統一した支援を実施する事で子どもの成長を促す事ができるようにします。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	6か月に1回、モニタリングを実施しています。今後も定期的なモニタリングを行い、スタッフ間でミーティングの機会を設けていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	管理者もしくは担当スタッフが参画していますが、疾病を多く持つ利用児さんは看護師も参画するよう配慮していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	カルテ資料に不足している情報の把握と情報収集をしていきます。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	0	関係機関との担当者会議に参加し、出来る限りの利用児に対して情報交換の場を設け連携を図り支援ができるようにする必要があると考えています。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	0	医療ケアが必要な利用児さんに対しては、かかりつけ病院の地域連携室との連絡、情報共有がより必要と思われる。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	現在、地域の保育所や幼稚園、特別支援学校（幼稚部）に通っている利用児がいる為、情報共有の場を設けていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	就学先である学校に対して、引継ぎシートや療育の見学に来ていただくことで相互理解の機会を設けています。今後も学校との連携を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	療育支援センターに研修に行き、レポートによる助言をいただいています。今後も研修で学んだことや助言を基に支援の向上につなげていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	0	地域の保育園との交流会を図りましたが、今後も継続して地域の保育園や幼稚園等と交流の機会を設けていきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	こども部会、医ケア部会に参加しています。その他の会にも参加し、様々な情報を得ていく必要があると考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	連絡ノートに記入したり、送迎時に利用時の様子をお伝えし、自宅での様子をご家族より聞き取る事で情報共有を図っています。ご家族から聞き取った情報をノートに記載し、スタッフ間での情報共有を図っていますが、共有した情報の中から課題を拾い、解決できるための支援をその都度話し合い検討し実践していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	事業所のイベントを通じて保護者様同士の交流を持つことが出来ていますが、保護者会の開催を企画できればと考えています。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時に重要事項説明書のお渡しとともに説明を行っていますが、より保護者の方に正しく理解していただけるよう、丁寧な説明を行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	個別支援計画案と書の説明を行う日程調整を行う際、日程の希望と説明を行う場所の希望を問う案内を保護者様にお便りし、ご希望に沿うようにしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	お迎えや送迎の際に保護者様と情報を共有するようにしていますが、保護者様からのご相談を受けた際、必要な助言や支援を行う事ができるよう研修に参加し特性理解や知識を深める事ができるようにします。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	保護者会の開催頻度をもう少し増やす事ができるよう検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	保護者さんの困りごとをいつでも話せる雰囲気であるか又、ご家族の表情や何気ない会話の中から困りごと等を聞き出し支援に繋げる事ができるよう配慮していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	毎月、月案と月のお便りを作成し配布しています。行事予定の連絡が急なこともあり、余裕を持って行事予定のお知らせをする事ができるようにします。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	個人情報は全て個別でファイリングされ、事業所以外で開催される支援会議等、情報共有の為に使用する事がありますが、今後も個人情報の取り扱いには十分配慮していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	個別に送迎時、保護者へ必要な情報を付箋やお手紙又は、口頭等、保護者様に伝わりやすい方法で伝える様にしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	0	年2回の夏祭りは地域の方にも参加を呼びかけおります。又、年に1回地域の保育園へ訪問し、お友達との交流の機会を持ち成長や発達を促す事ができればと考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	2	各利用者さんに緊急時対応、感染症対応マニュアルを作成し配布している。火災訓練以外でも発生を想定した訓練を実施してみる又、防犯マニュアルの作成とスタッフへの周知を図っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	半年に1回避難訓練を実施し振り返り・反省を行い災害時に備えています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	情報を共有する為のファイルを作成しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	食事準備の際に確認できる場所に食事に関する禁忌事項を貼り、スタッフが把握できるようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	事案が出た際は、スタッフで共有し対応や改善策を考えていますが、些細な事でもヒヤリハットにあげて共有できるようにしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	虐待防止の研修に参加した職員より、研修内容をスタッフ皆で周知し防止に努めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	1	身体拘束の時間を記載できるようにしています。